

9 市役所前中央分離帯整備

萩市役所前は、一般国道191号を挟み明治維新の舞台となった歴史的町並みと市街地を形成する市役所等の公共施設が立地する萩市のメインストリートであるにもかかわらず、2車線であったため交通渋滞が発生するとともに、歩道が狭隘であった。

このため、国土交通省において電線共同溝による電線類の地中化など、地域の景観に配慮しつつ、4車線の道路に拡幅されることとなったが、当初の計画では市民に親しまれている市役所前のさくら（萩市の開花基準木）11本が伐採されることとなっていた。

しかし、市民からさくらを残して欲しいとの声が多かったため、当初の計画を変更して、さくらを残した広い中央分離帯を萩市が整備することになった。

整備にあたり市内の高校の同窓生より、さくら15本を寄付していただき、従来のさくらと調和させて植樹し、常緑の地被類、石灰碎石や下水道工事で発生した笠山石（玄武岩：江戸時代より建物の基礎に使用されてきたが、現在は産

地が国定公園に指定されているため採取困難となっている。）を景石としてリサイクル利用し、庭園風に整備した。

市民や観光客がくつろぎ、語り、知的好奇心を満たし、萩市の中心地に賑わいと活気生まれる「にぎわい交流拠点」を創出するまちづくりを目指して、市役所前中央分離帯は、人をやさしくつつみこむ景観、環境づくりの一端を担っている。



観光都市「萩」のメインストリートの中央分離帯である



市内の高校の同窓生よりさくらを寄付していただいた



既存のさくらを残して庭園風に整備

DATA.9

- ① 山口県萩市江向
- ② JR山陰本線東萩駅からバスで約10分
- ③ 萩城跡、松陰神社等
- ④ 特になし
- ⑤ 萩市都市計画課
TEL：0838-25-3131

